



平成 30 年 5 月 15 日

エアロセンス株式会社  
株式会社 ダイワ技術サービス

## エアロセンス、総合建設コンサルタント（株）ダイワ技術サービスと販売代理店契約を締結

この度、エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下エアロセンス）は、東北地方において、測量機器レンタル事業及びICT計測サービス事業を展開する総合建設コンサルタント 株式会社ダイワ技術サービス（宮城県仙台市、代表取締役：宮崎 恵志、以下ダイワ技術サービス）と正規販売代理店契約を締結しました。

ダイワ技術サービスは、エアロセンスの「エアロボ測量」ソリューションパッケージ（エアロボマーカ、自律飛行ドローン及びエアロボクラウドサービス）を、i-Construction のトップランナー施策の普及推進を図るため、東北のICT施工市場を中心とし、販売を開始致します。

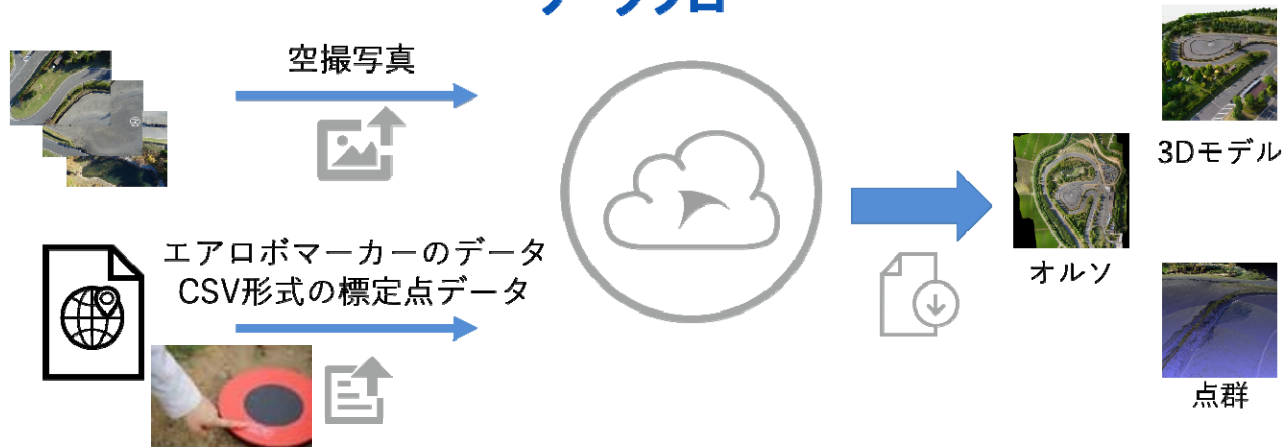
ドローンは近年のめざましい技術革新による機体制御安定化、導入コストの低下に加え、世界的な規制緩和の進展により、さまざまな分野で活用事例が増加しています。代表例としては、測量、建築、点検、輸送などがあげられ、これまで危険性が高く人間では対応が難しかった業務や非効率だった作業も、ドローンとクラウドを組み合わせることで、大幅な効率化とコストダウンを実現することが可能となりました。

エアロセンスの「エアロボ測量」ソリューションパッケージは、その最先端のソリューションです。ドローン測量のワークフロー全自動化を実現し、現場での測量工数とデータ処理工数を大幅に削減致します。エアロセンスは、その自律型ドローンプラットフォームを核に、ダイワ技術サービスのサービス網を通じて、お客様と共に新たな価値を提供していきます。

### ■ 「エアロボ測量」ソリューションパッケージ

- ・エアロボマーカ <http://www.aerosense.co.jp/marker2/>
- ・自律飛行ドローン「AEROBO」 <http://www.aerosense.co.jp/multicopter/>
- ・エアロボクラウド <https://aerobocloud.com/>

## ワークフロー



土木・建設業界での担い手不足が大きな課題となる中で、国土交通省が推進している建設現場における ICT 施工化（i-Construction）件数は、2016 年度開始以来、年々増加し（※1）、橋やトンネル、ダムなどの公共工事の現場で、測量にドローン等が投入され、施工、検査に至る建設プロセス全体の 3 次元データ化が進んでいます。エアロセンスは、そのような時代・現場のニーズに応じて、AEROBO® Marker（エアロボマーカ：GNSS センサ内蔵対空標識）ならびに AEROBO® Cloud（エアロボクラウド：ウェブブラウザ上の産業用ドローン向け画像処理サービス）を 2017 年度導入し、現場での測量工数とデータ後処理工数を従来比で 50%以上削減（※2）することに貢献しています。さらに、この度、以下の主な特徴と機能を有する「AS-MC03」を市場投入し、さらなる安全・簡便・迅速・高精度なドローンオペレーションを支援いたします。

※1【ICT 施工件数の推移】 出所：国土交通省

工種	時点	H28年度		H29年度	
		公告工事	ICT実施	公告工事	ICT実施
土工	2月時点 (年度)	1,571 (1,625)	506 (584)	1,514	772
舗装工	2月時点	-	-	182	26
浚渫工	2月時点	-	-	28	24

※2【株式会社大林組との共同比較検証】 詳細は、<http://www.aerosense.co.jp/case-0006>

飛行・解析条件		既存手法	AeroSense
使用機体		他社製ドローン	エアロセンス製 AS-MC02-P
カメラ		Sony α6000	Sony DSC-QX30
オーバーラップ (進行方向・横方向)		80%・60%	80%・60%
マーカースの測量方法		GNSS ローバ	エアロボマーカースによる スタティック測位
結果・比較			
GCP 数		14 個	10 個
GCP 測量時間		4 時間	2 時間
モデルの精度		±50mm	±50mm
地上解像度		20mm	20mm
解析時間		12 時間	3 時間

エアロセンス株式会社について

エアロセンスは、ソニーと ZMP の合併会社として、2015 年 8 月に設立されました。エアロセンスは、ソニーのカメラ・センシング・通信ネットワーク・ロボット分野における技術と、ZMP の自動運転・ロボット技術・産業分野へのビジネス経験を活かし、自律型無人航空機 (UAV) とクラウドサービスを組み合わせた産業用ソリューションの提供を通じて、より効率的な測量、点検、管理、物流等を実現し、環境にやさしく安心して暮らせる社会の構築に貢献していきます。エアロセンスの詳細については、<http://www.aerosense.co.jp>

AEROBO® Marker (エアロボマーカース) について

GNSS センサを内蔵した対空標識で、ドローン飛行中に現場に置いておくだけでマーカースの位置を高精度に測位し、さらに独自のクラウド後処理と組合せ、大幅に後工程の手間を削減するものです。

経済産業省および IoT 推進ラボの第 2 回先進的 IoT プロジェクト選考会議「IoT Lab Selection」でファイナリストに選定され、同会議の支援機関の 1 つである NEDO の事業として採択されたもので、エアロセンスが開発した成果に基づくものです。

AEROBO® Cloud (エアロボクラウド) について

ウェブブラウザだけで使える測量や点検などのドローン業務をサポートするためのクラウドサービスで、大容量の撮影データやフライトの管理、点群や 3D メッシュを作成する写真測量処理など空撮画像処理で必要とされる一連のワークフローが簡単に実行できます。

AEROBO® (エアロボ) はエアロセンス株式会社の登録商標です。